



私の街こまつ



THE KOMATSU CITY COUNCIL NEWS



2026

5.1

NO.221

議会だより



令和8年度 当初予算全会計 1,156億9,370万円を可決

Contents

1月臨時会	2	常任委員会 審査報告	19
3月定例会	4	特別委員会 調査報告	21
市政Q&A		議決結果	22
代表質問・一般質問	6	活動ピックアップ	23
予算決算常任委員会総括質疑	16	議長の活動紹介	24

撮影者 小松大谷高等学校写真部 2年 辻野 岳空さん 撮影日 4月4日



市議会HP



マチイロ

令和8年第1回臨時会 1月19日

物価高騰対策を早期に実施するため、臨時会が開催されました。

予算案 1件
補正額 17億7,600万円

会派自民



東浩一 議員



動画でチェック

◆小松市プレミアム付商品券いい街こまつプレミアム予算13億9,900万円について

Q プレミアム付商品券の内容について。

A 1冊2,000円で販売し、3,000円分の利用ができる商品券を10万冊、1万円で購入し、1万5,000円分利用ができる商品券を7万冊発行する予定。販売額総額9億円の約2割となる2億円分を2,000円で、残り8割となる7億円分を1万円で購入する予定で、最大4万5,000世帯が購入可能な規模である。

Q 今回の商品券の発行規模、経費について。

A 今回の事業の予算額は13億9,900万円で、商品券の換金分は13億5,000万円、発行に係る経費は、4,900万円となる。

Q 購入者への対応と店舗からの利用代金の請求申請に係る件について。

A 市民には、6月頃に購入引換はがきを全世帯へ発送、販売場所は郵便局や大型商業施設などを予定し、1世帯当たり最大2万円まで購入ができる。はがきには2,000円単位の枠を設け、複数回に分けて購入することも可能。

取扱店が換金する方法は、商品券に付属するQRコードを活用し、市から換金額が支払われる仕組み。

Q 地元商店街や飲食業、中小・小規模事業者やサービス業など地域経済への還元と活性化について。

A 商店街との連携事業、イベント等への補助金などは現在予定していない。今回の商品券の利用者をどう引き込むかは、各店舗や商店街での創意工夫に期待し、市としては市全体のにぎわい創出につながるよう、市民や事業者と共に取り組んでいく。



吉柴文悟 議員



動画でチェック

◆自治体マイナポイントによる物価高対策(2億9,200万円)

Q 4月から開始する「生活応援自治体マイナポイント」と現行制度の違いは何か。

A 現行は現役世代の負担軽減が目的だが、今回は物価高の長期化を受け、市民生活支援の色を濃くし、高校生や高齢者へも対象を拡大した。

Q スマートフォンを持たない高齢者層への対応は。

A ポイントを付与できる電子マネーカードがあれば

家族等のスマートフォンからも申請可能であり、本市のサポート窓口等での申請も周知していく。

Q 若い世代が高齢者の申請を手助けする、多世代共助の仕組みを構築してはどうか。

A まずは現在のマニュアルの改善や市の窓口での対応を徹底していく。

Q 予算に余剰が生じた場合、未使用予算はどのように活用する方針か。

A 過不足が生じた場合は、令和8年度当初予算で計上する対策も含め柔軟に対応し、1円でも多く市民の皆様の手に渡るよう、有効に活用する。

◆いい街こまつプレミアム(13億9,900万円)

Q 商品券の購入手段が現金のみだが、クレジットカードなど多様な決済手段に対応する予定はあるか。

A 販売額の相当数が1万円単位であることに加え、決済手数料による運営コストの増加が見込まれるため、現金払いに統一している。

Q デジタル枠の試験的導入など、紙とデジタルのハイブリッド運用についての見解は。

A 一部デジタル化した紙の商品券事業と、完全デジタルのマイナポイント事業を両方実施することで、デジタルとアナログの特性を生かしている。今後とも幅広い市民層に配慮して検討していく。

小松志士の会



濱口淳也 議員



動画でチェック

◆国からの物価高対策自治体マイナポイントについて

Q 携帯電話が対応していない場合の対応は。

A 4月から予定している生活応援自治体マイナポイント事業では、スマートフォンを所持していない方でも、カード型の電子マネーWAONや楽天Edyについては対応可能。その場合は、家族や友人のスマートフォンからマイナポータルで申請を行ったり、本市のサポート窓口等のパソコンを利用したりすることで申請が可能である。

Q 市役所では個別相談形式の窓口を設置し、1日当たりおおよそ50件程度の相談があると伺ったが、南部地域の方々の利便性を考えると、南支所にも相談窓口を設けることができないか。

A 多くの方の来庁が見込まれることから、南支所にもサポート窓口を開設し、体制を拡充していきたいと考えている。

Q 小松市のLINEで、トチポやマイナポイントに関する案内は何度も配信されているが、目を引く題名をつけるなど、工夫した周知方法を検討できないか。

A 一人でも多くの方々に周知できるよう、広報担当部門とも連携して検討していきたい。LINE等で

3月定例会

会期〈2月24日～3月24日〉

2月24日 開会

市長提出議案
 予算案 17件
 条例案 10件
 その他議案 7件

3月4日 代表質問 (3人)

一般質問 (3人)

5日 一般質問 (7人)

6日 一般質問 (4人)

11日 予算決算常任委員会総括質疑

12日 } 各常任委員会 (分科会)
 13日 }

16日 特別委員会

19日 予算決算常任委員会

24日 閉会

議員提出議案 4件

※議案等の採決結果 (P22参照)

条例案等をチェック (P20参照)

市長から提出のあった条例案やその他の議案については、各常任委員会で審議されました。

予算案をチェック (P19参照)

市長から提案のあった予算案については、予算決算常任委員会で審査されました。

令和8年度当初予算

会計名		令和8年度 当初予算額	令和7年度 6月補正後予算額(※)	伸率
一般会計		576億8,000万円	547億6,030万円	5.3%
特別会計	国民健康保険事業	88億5,190万円	89億790万円	▲0.6%
	介護保険事業	107億7,190万円	106億4,600万円	1.2%
	公債管理	75億4,410万円	63億5,220万円	18.8%
	産業団地事業	6億1,390万円	11億8,680万円	▲48.3%
	後期高齢者医療	24億2,720万円	20億3,320万円	19.4%
企業会計	水道事業	41億400万円	38億4,390万円	6.8%
	下水道事業	111億4,570万円	118億7,360万円	▲6.1%
	病院事業	125億5,500万円	130億5,600万円	▲3.8%
全会計の合計		1,156億9,370万円	1,126億5,990万円	2.7%

※令和7年度当初予算は骨格予算のため、6月補正後予算との比較

令和7年度3月補正予算

会計名	補正額
一般会計	9億3,720万5千円
特別会計	3億2,100万円
企業会計	15億2,521万4千円
計	27億8,341万9千円

令和7年度

一般会計の累計 594億8,201万5千円

全会計の累計 1,196億7,422万8千円